

## 和田区地域協議会の第3期（4年間）の活動報告（令和2年3月6日現在）

### 1. 会議開催回数

委員の任期 平成28年4月29日～令和2年4月28日

年度	総会議数	内訳：種類別（協議・報告回数）[延べ]				
		自主的 審議事項	地域課題の 洗い出し	諮問事項	地域活動 支援事業	行政からの 報告
平成28年度	8回	0	6	0	7	0
平成29年度	7回	7	1	0	9	0
平成30年度	8回	7	0	0	6	2
令和元年度	6回	6	0	0	5	2
合計	29回	20	7	0	27	4

### 2. 自主的審議事項

自主的審議事項は地域の課題などを議題に、地域協議会が自主的に話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果、地域で対応できないものは、市政運営の中で実現を求めるため、市に意見書という形で伝えることもできます。

【自主的審議事項】・・・2件

- (1) 雪を生かした地域づくりの推進について（平成29年7月4日提案）
- (2) 住民組織の充実と地域活性化について（平成29年7月4日提案）

※詳細は別紙参照

### 3. 諮問事項

諮問事項は、区内の重要な公共施設の設置・廃止などについて、市から意見を求められたとき、「住民生活にどのような影響があるか」という観点で話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果は、市長へ回答することになっています。

【諮問事項】・・・0件

### 4. 地域活動支援事業の審査・採択

地域協議会は、課題解決に向け優先すべき事業等を協議して採択方針や審査方法を定め、提案された事業の審査・採択を行います。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	610万円	610万円	610万円	610万円
提案件数 (補助金希望額)	4件 (681万5千円)	11件 (609万5千円)	7件 (814万5千円)	7件 (644万円)
採択件数 (補助金額)	4件 (610万円)	11件 (609万5千円)	7件 (610万円)	7件 (610万円)

【採択方針や審査方法に関する主な協議経過】

- ・基本審査で「適合しない」と委員が判断した場合、次に行う共通審査等で点数を付ける必要がないという意見を踏まえルールを改定（平成29年度から）
- ・事務局が行っていた「優先採択審査」は、委員が行うことに改定（平成29年度から）

### 5. 委員研修

自主的審議事項などの協議の参考にするため、先進地視察や専門の講師を招いての研修会を実施しました。

実施年月日	テーマ	概要
平成29年 8月3日	雪利用施設の視察	自主的審議事項「雪を生かした地域づくりの推進について」の協議の参考にするため、公益財団法人ゆきだるま財団（安塚区）による雪利用の取組を視察。

### 6. 意見交換会

自主的審議事項などの議論の参考にするため、地域の各種団体や様々な年代の方を対象に意見交換会を実施しました。

実施年月日	テーマ	参加者	結果
平成28年 10月7日	和田区内の子育て世代との懇談	和田小学校・大和小学校の児童保護者(9人)	身近な地域の課題や活性化に向けたアイデアなどについて意見交換し、課題の把握を行った。
平成30年 11月15日	和田区雪イベント実施に伴う意見交換(第1回)	和田地区振興協議会など地元関係団体(12団体15人)	地域協議会が「雪を生かしたイベント」の開催に向けて作成した企画書(案)を和田区の関係団体に提案。
平成30年 12月10日	和田区雪イベント実施に伴う意見交換(第2回)	和田地区振興協議会など地元関係団体(12団体15人)	実施の可能性や実行委員会の立ち上げを協議し、了承された。



和田区内の子育て世代との懇談会（H28.10.7）



和田区雪イベント実施に伴う意見交換会（H30.12.10）

### 7. 地域協議会だよりの発行

地域協議会の活動状況を地域の皆さんに広く周知するため、地域協議会だよりを発行し全戸配布しました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発行回数	4回	4回	4回	4回

【令和元年度の主な掲載記事】

- (1) 自主的審議事項「雪を生かした地域づくりの推進」の取組状況 [令和元年10月15日号]
- (2) 行政からの報告事項（公の施設の使用料改定など） [令和2年1月15日号]
- (3) 令和元年度地域活動支援事業の紹介 [令和2年1月15日号]

和田区における自主的審議事項

別紙

件名	地域の課題としたもの	課題解決に向け、考えた取組 (当初案)	主な成果・実績
<p>雪を生かした地域づくりの推進について (H29. 7. 4 提案)</p>	<p>当地域は冬になると多くの積雪があり、除雪の負担があるだけでなく、屋外活動が控えられ冬期は地域活動が停滞しがちである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪を楽しむ取組やイベント、雪を利用した事業等を、和田区の団体や組織に提案。</li> <li>・必要により組織化につなげたうえで、イベントの開催や利雪の事業化へ結び付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修 (H29. 8. 3 公益財団法人ゆきだるま財団へ)</li> <li>・和田区雪イベントの開催に向けた協議 (H30. 9～H31. 4)</li> <li>・雪イベントの企画書(案)を作成 (H30. 10)</li> <li>・関係団体との意見交換 (H30. 11. 15、H30. 12. 10)</li> <li>・和田区雪イベント実行委員会を組織 (H31. 4)</li> <li>・「第1回みんなの冬のカーニバル事業」を地域活動支援事業に採択 (R1. 5)</li> <li>・「第1回みんなの冬のカーニバル」を開催 (R2. 2. 8～2. 9)</li> </ul>
<p>住民組織の充実と地域活性化について (H29. 7. 4 提案)</p>	<p>和田区では、地域振興、福祉、体育等さまざまな分野の各種団体(住民組織)が活動しているが、個々の活動にとどまり、地域の活性化の動きにつなげられていない。</p>	<p>地域協議会を含めた懇談会の開催等、各種団体が一つの場に集まり意見交換(懇談会)を進めることで、横の連携が図られ、地域の活性化等共通認識が持てる。</p>	<p>各種団体が冬期間における地域の活性化に向けた課題を共有し、一つになって実施する実行委員会(和田区雪イベント実行委員会)が組織された。</p>